

事業所名

児童デイゆめときわ2

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

R 6 年

11 月

20 日

法人（事業所）理念		こどもの「できる」を増やしたい、こどもの「とくい」を伸ばしたい。							
支援方針		子供たちが安心して通えるような環境整備と信頼関係の構築をしながら、お友だちと楽しく活動できる居場所を提供していく。 本人やご家族の困りごとなどに寄り添いながら、個々に応じた支援を提供し、お友達との関わりを通じてコミュニケーションスキルや社会性を身につけることができるように支援する。							
営業時間		平日	12 時	00 分	から	18 時	00 分	送迎実施の有無	ありなし
		土・祝・長期休暇	9 時	00 分	から	17 時	00 分		
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・来所時、滞在時、送迎時の子どもたちの様子・体調を管理し、共有する。 ・タイマーや時計を用いた行動の切り替えへの支援。 ・持ち物の自己管理ができるよう、カゴの設置や写真・イラストを掲示する。 ・来所時の身支度や着替えなど、身の回りのことを自分の力でできるようになるための支援。							
	運動・感覚	・姿勢保持に対する声かけ。 ・遊びやクッキングなどの活動を通した手先の力を養えるような支援。 ・定期的な外遊びや体育館遊びでの全身運動、体幹や鍛えられるような支援。 ・視覚、聴覚、触覚を活用した遊びやイベントの導入。							
	認知・行動	・パーソナルスペースの確保と距離感の正しい守り方に対する支援。 ・季節の変化を感じるためのイベント（外出、クッキング、製作など）の企画。 ・SST、ビジョントレーニングの活用。 ・視覚的支援や事前の声掛けを行うことで見通しをもって活動できるように支援する。							
	言語 コミュニケーション	・自発的に発言することが困難な子への働きかけ。 ・挨拶や正しい言葉遣いができるよう支援したり、ひらがなカード等を用いて語彙力の向上を図ったりする。 ・読み聞かせやコグトレの実施。特性に合わせた読み書き能力向上の為の教材の準備。 ・お集まりやイベント時に集団での遊びや活動を行い、その中で言葉を用いたゲームや友だちと関わる機会を設けられるよう工夫する。							
	人間関係 社会性	・公共の施設を利用したイベントを行うことで社会性を身につける。 ・SST、イベント時にグループ活動を行い、集団に参加できるようになるための支援をする。 ・ルールを守ることや役割分担、協力をする事の大切さを知ることができるようなイベントの開催。 ・状況に応じた個室の活用（個別支援、クールダウン等）							
家族支援		・連絡帳や月一回の通信、送迎時の情報共有。・必要に応じて個別面談の実施。 ・ペアレントトレーニングや家庭での支援のアドバイス。 ・年1回の保護者会の開催。					移行支援	・ご家庭、園、併用事業所等の関係機関と必要に応じて情報共有を行う。 ・進級、進学に合わせて新しい関係機関との情報共有を行う。	
地域支援・地域連携		・イベント時に地域の公共施設を利用する。					職員の質の向上	・内部研修や勉強会を定期的を実施。 ・外部研修への参加。	
主な行事等		・誕生会・夏祭り・クリスマス会・様々な体験活動。 ・防災・避難訓練。							